



事業活動の環境負荷低減

環境リスク管理・安全管理

環境リスクとは「重大な環境への影響が起きる可能性」と考えられます。OKIグループは、この環境リスクとなる大気汚染や水質汚濁などの環境汚染を未然に防止するため、環境汚染物質の排出削減活動や定期的な測定検査および設備のメンテナンス、緊急時の訓練などを行っています。

緊急事態への準備及び対応

環境リスクの予防

OKIグループでは、各拠点で環境リスクを低減するための予防処置や緊急時対応の訓練を実施しています。



消火班による消火活動（宮城沖電気）



化学物質取り扱い訓練（沖データ）



自衛消防団による消火訓練（沖エアフォルク）



半導体材料ガス保安訓練（OKI 八王子地区）



ガス漏洩時対応訓練（OKI 八王子地区）



重油流出防止訓練（長野沖電気）



半導体材料ガス漏洩訓練（宮崎沖電気）



薬品排水漏洩訓練（宮崎沖電気）



危険物漏洩の対応訓練（静岡沖電気）

地下水汚染・土壌汚染

OKIグループでは、グループ会社を含む全生産拠点を中心に、100箇所以上の観測ポイントを設置し、定期的に地下水の監視を実施しています。各拠点の敷地境界における有害物質濃度は、環境基準を満足しております。

なお、敷地内の一部観測ポイントで環境基準を若干上回ることが確認された生産拠点（埼玉県本庄市）では、関係自治体の指導・助言を受けて適切に修復処置を実施しています。

土壌汚染については、東京都芝浦地区の特定施設廃止に伴い、法令にもとづく土壌汚染調査を実施した結果、若干の土壌汚染が確認されましたが、所管行政の指示に従い、汚染土壌の入替えを2004年度中に完了しました。2005年度、2006年度は、新たな土壌汚染は発生していません。

罰則・クレーム

2006年度、環境に係わる罰則、クレームはありませんでした。クレームを受けた時は、原因を突き止め対策を実施し、適切に処理しています。